

先進地調査等報告書

令和6年10月31日

天童市議会議長様

会派名 清新会
氏名 鈴木照一

下記により、会派において調査（視察）が終了したので報告します。

記

期 間	令和6年10月9日（水） から 令和6年10月11日（金） まで
調査（視察）先 調査項目	1. 長野県長野市 ○中学校部活動の地域移行に向けた取組みについて 2. 石川県金沢市 ○地域ICTプラットフォーム結ネットについて 3. 新潟県糸魚川市 ○健康づくりセンター「はびねす」について
調査（視察）目的	1. 部活動の地域移行に向けた具体的な取組みを本市の取組みの参考とするため。 2. 地域コミュニティにICTを活用した具体的な取組みを本市の地域コミュニティにおける諸課題解決の参考とするため。 3. 類似施設の運営を本市の「Re Play ! TENDO」の運営の参考とするため。
調査（視察）内容	1. 長野県長野市「中学校部活動の地域移行に向けた取組みについて」 ○長野市立中学校の部活動の現状 ●部活動運営の基本方針と5つの取組み ① 「学校の部活動に係る方針」等を策定・公表・説明する ② 長野県教育委員会指針の活動基準の徹底に努める ③ 校内研修や職員間での協議や情報交換の機会を設ける ④ 「部活動運営委員会」を設置し会の活動を充実させる ⑤ 保護者負担の軽減を図る ●長野市教育委員会の4つの取組み ① 保護者への情報発信 ② 社会教育団体、関係機関等に対する働きかけ ③ 関係者による会議及び指導者研修会の開催

	<p>④ 部活動の新たな取組（地域移行を含む）等、各校の取組を情報発信</p> <p>●地域移行が完了するまでの重点事項</p> <p>① 平日の休養日を週1日以上、土日の休養日を週1日以上設ける</p> <p>② 保護者の負担軽減のために生徒の送迎や大会等の運営協力と活動費の負担等について過度に保護者会に頼らない部活動運営を心がける</p> <p>③ 中学校部活動に対する教職員・保護者・地域住民・関係団体等の意識改革を促すことが不可欠</p> <p>※ 運動部活動は令和7年度末、文化部活動は令和8年度末を目途に、準備の整った学校や種目から段階的に部活動の発展的な転換を目指す</p> <p>●部活動指導員の任用</p> <p>① 部活動指導員29名を18校に配置</p> <p>② 上限385時間（週11時間）</p> <p>※ 部活動指導員は部活動の地域移行の推進に資するとともに部活動に係る教職員の時間的・心理的な負担軽減につながるため拡充を検討する</p> <p>○地域移行により学校が目指す姿</p> <p>●子どもたちが学校外の多様な実施主体でスポーツ活動や文化芸術活動を継続して親しむことができる機会を確保するとともに、教員の時間外勤務の縮減等につなげ、学校の働き方改革を推進することで、学校教育の質の向上を目指す</p> <p>○地域移行のための推進手順</p> <p>『令和5年度（検討期）』</p> <p>●実施主体：部活動</p> <p>●指導者：（主）教職員、部活動指導員 （従）地域指導者</p> <p>●令和5年度入学生（1年生）</p> <p>『令和6年度（移行期）』</p> <p>●実施主体：部活動→地域クラブ活動</p> <p>●指導者：（主）地域指導者 （従）教職員、部活動指導員</p> <p>●令和5年度入学生（2年生）</p> <p>『令和7年度（転換期）』</p> <p>●実施主体：地域クラブ活動</p> <p>●指導者：地域指導者（希望する教職員）</p> <p>●令和5年度入学生（3年生）</p> <p>※生徒たちの混乱が少ない移行を目指すため、当面の間、部活動とクラブ活動が混在するが、種目毎、段階的に転換することが望ましい</p> <p>※移行・転換時期は、年度当初ではなく、7～8月（1学期末～2学期</p>
--	---

当初) とし、3年→2年への引継ぎの時期が望ましい

○学校部活動から地域クラブへの移行の向けて

- 市による新たな取組み
 - ① 市内スポーツクラブを情報発信
 - ② 市教育委員会のコーディネーター
 - ③ NJB (長野ジュニアバンド)、NJC (長野ジュニアコーラス) の活動を通年化
 - ④ スポーツ庁地域スポーツクラブ活動体制整備事業
 - ⑤ 教頭会での詳細説明を実施
 - ⑥ 文化庁地域クラブ活動体制整備事業
 - ⑦ 全中学校への詳細説明と検討会議への参加を順次実施
 - 学校体育施設の優先利用 (認証制度)
 - 学校体育施設の貸出業務の負担軽減 (オンライン予約システム)
 - 地域スポーツクラブの紹介
 - ① マッチングアプリ「探スポ NAGANO」
 - ② 長野市ホームページ
 - 合唱部と吹奏楽部の地域移行
 - ① 長野ジュニアコーラス (NJC)、長野ジュニアバンド (NJB) の枠組みを活かした地域移行の形を模索
 - 自転車の利用範囲拡大
- 長野市子どもの体験・学び応援モデル事業
- みらいハッ! ケンプロジェクト
 - ① 市内在住の小学1年生から中学3年生を対象に、一人30,000円分の電子ポイントを配布
 - ② 登録した地域クラブの会費に使用可 (保護者の費用負担軽減)



2. 石川県金沢市「地域ICTプラットフォーム結ネットについて」

○金沢市の地域コミュニティの現状

- 町内会加入率：67.74%
- 町内会数：1,345町内会

	<ul style="list-style-type: none"> ●高齡化率 (65 歳以上) : 27.6% ○金沢市の地域コミュニティの課題 <ul style="list-style-type: none"> ●町内会加入率の低下 ●町内会の役員や運営の担い手不足 ●若年層の地域参加意識の低下 ○地域 I C Tプラットフォームサービス「結ネット」 <ul style="list-style-type: none"> ●町内会等地域団体や各種団体において、地域の電子回覧板や情報受発信ツールとして利用し、災害時には安否確認システムとして活用できるアプリ ●「結ネット」導入の背景 <ul style="list-style-type: none"> ① 地域主導 <ul style="list-style-type: none"> ・若年層の町内会活動への参加促進や町内会運営の効率化を図る ② 市認定製品 <ul style="list-style-type: none"> ・「結ネット」は、金沢市が認定する「金沢かがやきブランド」大賞を受賞した製品。 ○地域コミュニティ I C T化推進プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ●地域の情報共有と発信、若い世代の町内会活動への参加促進のため、地域コミュニティにおける I C T化を推進する ● I C Tを活用した町内会運営を支援 <ul style="list-style-type: none"> ① 対象経費：結ネット等の電子回覧板等アプリの利用料、ホームページの制作委託料、スキャナ購入費等 ② 補助対象：地区町内会 ③ 補助率：3/4 ④ 限度額：町内会加入世帯数に応じて区分 ●三者（金沢市町内会連合会、株式会社シーピーユー、金沢市）協定 <ul style="list-style-type: none"> ① 結ネットを活用した町内会活動等の活性化に関すること ② 結ネットを活用した情報発信に関すること ③ 結ネットを活用したまちづくりに関すること ④ 結ネットの利用促進に関すること ●「結ネット」の更なる導入に向けて <ul style="list-style-type: none"> ① 説明会への派遣サポート <ul style="list-style-type: none"> ・ I C T推進員（アプリ導入等をサポートする学生ボランティア）を導入検討している町内会が主催する説明会に派遣し、アプリのインストールを補助 ○「結ネット」導入における課題 <ul style="list-style-type: none"> ① 情報弱者への対応 <ul style="list-style-type: none"> ●「高齡者等デジタル機器を所有していない方、不慣れな方への対応」 <ul style="list-style-type: none"> ・当面の間、回覧物は紙媒体とアプリでの配信併用
--	---

- ② 情報発信者の確保
 - 「オペレーターの人材確保が難しい、金銭的支援必要」
 - ・地域内で人材募集、複数人に対応、町内会連合会への交付金の活用
- ③ 市以外の回覧物のデータ配信
 - 「警察や社会福祉協議会、学校等からは紙媒体のみ」
 - ・各発信元へデータも提供するよう依頼
- ④ 未導入地域への普及促進
- ⑤ 地域団体との連携



3. 新潟県糸魚川市「健康づくりセンターについて」

○健康づくりセンター「はびねす」の概要

- 開設日：平成23年4月
- 営業時間：9時～22時（休館日：木曜日）
- 営業日数：308日
- 構造：鉄筋コンクリート造 2階建
- 建設費：約7億円（公共施設省エネ・新エネ設備導入補助金）
約10億円（屋内プール）
- 指定管理者「糸魚川健康づくりパートナーズ」
 - ・コナミスポーツ株式会社（全体統括・フィットネス棟運営）
 - ・糸魚川二幸株式会社（維持管理）
 - ・株式会社新潟ビルサービス（プール棟運営）
- スタッフ体制
 - ・「フィットネス棟」15人、「プール棟」10人
- 指定管理料
 - ・(R3) 6,900万円、(R4) 6,900万円、(R5) 6,700万円
- 清掃センターの余熱利用
 - ・清掃センターにおけるごみ焼却の熱エネルギーを利用し、健康づくりセンターの風呂・プールに熱供給
- プールの学校授業としての利用
 - ・市内小学校1校、中学校1校で計14回

	<p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新規利用者の確保 ●働き盛り世代の運動習慣の定着 ●運動効果の可視化 ●施設の維持管理（設備更新等） ●公共施設使用料の適正化 <p>○今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ●レズミルズプログラムの積極的PR ●施設外での出張指導 ●モニターによる運動効果の検証 ●設備の予防保全 ●受益者負担の原則に基づいた使用料の見直し <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>
<p style="text-align: center;">感 想</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中学校部活動の地域移行は大人の意識改革なしには進まない。この取り組みはこれまでの日本型課外活動の大変革だということを認識しなければならない。子どもたちが学校外の多様な実施主体でスポーツ活動や文化芸術活動を継続して親しむことができる機会を確保するために、全く新しいシステムを構築するため、部活動の利害やクラブ活動の利害を一度リセットする必要があると考える。 2. 大都市である金沢市の地域コミュニティにおける課題は、①町内会加入率の低下、②町内会の役員や運営の担い手不足、③若年層の地域参加意識の低下と、天童市と何ら変わらないようだ。通信アプリ「LINE」を活用した情報発信を本市も展開しているが、地域の回覧板のような機能があると便利だろうと思う。金沢市もそうであるように情報弱者への対応として、回覧物は紙媒体とアプリでの配信を当面の間併用する必要があると思うが、限りなく紙媒体から脱却する方向で努力すべきだろう。 3. 健康づくり施設の運営は、近年類似施設の開業が相次ぎ、どこも順調とは言い難い状況のようだ。課題も①新規利用者の確保、②働き盛り世代の

	<p>運動習慣の定着など利用者増に苦心している。施設利用による運動効果の可視化でPRし、スタッフの施設外への出張営業や小中学校の水泳授業の委託など、新たな需要の掘り起こしが肝要だろう。</p> <p>この度の行政視察を引き受けていただきました長野県長野市並びに長野市議会、石川県金沢市並びに金沢市議会、新潟県糸魚川市並びに糸魚川市議会の皆様に感謝申し上げます。</p>
--	--

令和6年度清新会視察等報告書

令和6年10月23日

議長 遠藤 敬知 様

水戸 保

○ 10月9日(水) 長野県 長野市

「中学校部活動の地域移行について」

生徒や保護者にとって不安のある部活動の地域移行であるが、少子化による部員の定数割れ、先生の激務・指導の問題と様々な課題があるのは全国的なことである。

しかし、長野市では、「学校以外で文化・スポーツを楽しんでもらいたい」と学校教育課が積極的に地域クラブへの移行を進めていることは、さすが教育県の長野であると感心。

費用については国と市からの補助金で正当な対価を払うので、保護者の金銭的負担を考慮しているのはいいことである。

○ 10月10日(木) 石川県 金沢市

「結ネット(電子回覧板)について」

回覧板が回る日にちが長いのをフォローし、出欠集計作業も軽減できる電子回覧板は、町会加入率の低下を危惧して、ある一部の地域から盛り上がってきたというのはすごい。

これを市が取り上げたのが始まりで、庁舎内には金沢市町会連合会の課があり、職員も数名常駐しているので本気度がわかる。

しかし、情報弱者・高齢者などのデジタル機器を所有してない方、不慣れな方には当面回覧物は紙媒体とアプリでの配信併用しており取り残されない方法をとっている。

また、オペレーターの人材確保や町会連合会への交付金をどうするか課題はあるという。

○ 10月11日(金) 新潟県 糸魚川市

「健康づくりセンター はびねす について」

この施設に隣接する清掃センターの予熱利用した健康センターの風呂・プールに熱供給をするというので、新潟県から公共施設省エネ・新エネ設備導入の補助金、そして合併特例債を活用し、総額約7億円の建設費のうち、一般財源(市の持ち出し)が約4千万円と格安で造った施設とは羨ましい。

現在、屋内プールは小学校・中学校各1校で学校授業として利用しているが、利用料は無料で監視料だけもらっているという。いずれ利用校は増えるであろうとのこと。

格安で施設を作ったためか開館の際低料金だったので、諸経費が高騰している現在、利用料の適正化が今後の課題であるというのも納得だった。

先進地調査等報告書

令和6年10月30日

天童市議会議長 様

会派名 清新会

水戸 芳美

下記により、会派において調査（視察）が終了したので報告します。

記

期 間	令和6年10月9日（水）～令和6年10月11日（金）まで
調査（視察）先	視察地 1、長野県長野市 2、石川県金沢市 3、新潟県糸魚川市
調査項目	◎視察内容 1、・「中学校部活動の地域移行に向けた取り組み」について 2、・「結ネット（電子回覧板）」について 3、・「健康づくりセンターはびねす」について
調査（視察）感想	■ 1、長野県長野市 ● 「中学校部活動の地域移行に向けた取り組み」について ◇長野市は、人口約 36 万 3 千人、面積 834.81k m ² 、市立中学校は、23 校である。 学校部活動から地域クラブ活動への移行に向けての長野市の新たな取り組みとして、市内のスポーツクラブ等一覧表をホームページに掲載したり、生徒とクラブをマッチングするアプリケーション「さがスポ NAGANO」に約 90 クラブを掲載中で、今後の運用についても前向きに検討中とのことだった。これらの生徒とクラブをマッチングするアプリケーションを利用することなどは、本市でも参考にしたい。 また、学校から、スポーツクラブへの動手段として、自転車があ

るが、徒歩より移動が速くなるメリットもあるが、事故などの心配や冬の自転車は危険などの保護者からの意見もあるようだ。このように移動手段が課題であり、タクシーや福祉施設の使用していない時間帯の車を利用できないかも検討しているとのことだったので、本市でも参考にしたい。

また、スポーツクラブでスポーツや文化芸術活動をする場合、入会金や月会費などが必要となり、スポーツ関係は 2,000 円～3,000 円/月位で文化系の合唱部や吹奏楽などは、月 2～3 回で通年 15,000 円位の参加費が掛かるなど保護者の負担も大きいなどから、電子クーポンを支給して、クラブなどへの会費を電子クーポン払い出来るようにしている。これらの保護者の負担軽減事業なども参考になった。

■ 2、石川県金沢市

●「地域 I C T プラットホーム結ネット」について

◇金沢市は、人口約 44 万人、面積約 468k m²石川県のほぼ中央に位置し、中核市、保健政令市、中枢中核都市に指定されている。

金沢市、金沢市町会連合会及び株式会社シーピーユーとの三者で、地域 I C T プラットホームサービス「結根ネット」を活用した取り組みに関する協定を、令和 3 年 4 月 27 日に連携協定を結んだ。

活用事例として、町会連合会などは、役員会などの出欠確認、各種お知らせ、防災情報、市からの班回覧物データなど内部の情報共有ツールとして活用している。

また、高齢者宅に通信機能付きの電球を設置して、電球の点灯異常を「結ネット」を介して遠方の家族や民生委員・町内会長に通知なるようになるため、見守られる側も見守る側も双方が安堵感と心理的な負担の軽減につながっている。

それに、「結ネット」内に A I デマンド交通「チョイソコかなざわ」へのリンクを掲載し、電話やネットでの利用予約がしやすくなったということです。本市でもデマンドタクシー「ドモス」が有り、電話予約のみなので、金沢市の結ネット活用は、参考になり得る。

ある町内会は、紙の回覧は希望者のみに切り替え、配布負担の軽減と印刷費削減を実現している他、非効率的な回覧板に代わり、パソコンやスマートフォン等で受信できるようになったことで、若い方にも情報共有が容易になったため、若い方の組織の運営に携わる良いきっかけになっているようだ。これらのメリットを考えると、本市でも取り入れても良いのではと感じた。

3、新潟県糸魚川市

●健康づくりセンター「はびねす」について

◇糸魚川市は、人口約 3 万 8 千人、面積約 113k m²、市全域がユネスコ世界ジオパークに認定されており、翡翠（ヒスイ）の産地でもある。

はびねすの概要として、鉄筋コンクリート 2 階建て、敷地面積約 10,161 m²、建築面積約 3,764 m²、内プール棟は約 2,028 m²、駐車場は

100 台分、また、清掃センターにおけるゴミ焼却にエネルギーを利用して、健康づくりセンターの風呂とプールに熱を供給している。

施設別には、フィットネスルーム、スタジオ、風呂、プールがあり、令和 5 年度は、308 日、97,521 人利用しており、一日約 316 人利用している。施設内での教室等は、スタジオは週 30 本のプログラムを 3 カ月ごとに見直しながら実施している他、プール教室も週 45 本のプログラムを準備しており全国大会優勝選手を輩出している。プールに関しては、小学校 1 校と中学校 1 校が学校授業として計 14 回程利用しており、指導は学校の先生が指導するとのことだった。天童市の場合、今年天童二中がモデルケース的に学校の授業を天童スイミングスクール内の温水プールで実施しており、指導はインストラクターに委託している。外部指導を頼めば経費も掛かることから、天童市でも考える必要があると思う。

会派視察報告書

清新会 武田 正二

I	10月9日	長野県長野市	・中学校部活動の地域移行に向けた取組みについて
II	10月10日	石川県金沢市	・「地域ICTプラットフォーム結ネット」について
III	10月11日	新潟県糸魚川市	・健康づくりセンター「はびねす」について

I. 長野市の概要

長野市は長野県の北信地方にある県内で最も人口が多い市（約36万人）であり、長野県の県庁所在地、中核市に指定されている。また、長野都市圏・北信地方の中心都市。1998年には長野オリンピック・パハリニックが開催された。また、2005年には第8回スペシャルオリンピックス冬季世界大会が行われた。市長は荻原健司氏である。

○中学校部活動の地域移行に向けた取組みについて

本市では、「教育活動のスポーツ・文化芸術活動」から「スポーツ・文化芸術活動を楽しむ活動」への転換、子どもたちのスポーツ・文化芸術活動の環境整備と充実を目指し、「R5～R8運動部活動の推進計画」に沿い、「平日も含めた部活動の発展的転換」を推進。

見えてきた課題と解決策

中体連大会のあり方→ ・R5以降、参加資格を見直し・外部指導者の参加制限の緩和
 指導者確保→ ・希望する教職員や市職員を地域指導者に活用
 活動場所の確保→ ・学校体育施設（小・中学校）開放の優先利用
 意識改革（教職員・指導者・保護者→ ・これからのスポーツ・文化芸術活動の考え方を理解・指導者コンプライアンス研修
 学校・種目毎の異なる実情→ ・多様な方法での移行
 活動場所への交通手段→ ・活動時間の変更（夕方→夜間）・一旦帰宅せず活動場所へ移動
 ・国の支援策を踏まえた検討
 部活動と移行クラブの混在→ ・(例)クラブの新入生説明会や壮行会等へ参加を認める
 他にも、「保護者の費用負担」も課題として挙げられている。今後、国や県の動向を注視しつつ、本市の支援策を検討していく。

また、スポーツクラブのマッチングを図るアプリケーションの活用を勧めている。

《所見》

スポーツ庁、文化庁から、学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドラインが令和4年12月に公表された。各自治体では、令和8年度「部活動の地域移行」の推進に向けて努力中である。長野市には、国立1、市立25、私立4校の中学校がある。中核市ということで、スポーツクラブのマッチングを図るアプリケーションの活用等、先進的な施策に取り組んでいる。天童市ではなかなか取組みが見えにくいところがあり。視察をいかした提案をしていきたい。

II. 金沢市の概要

金沢市は、石川県のほぼ中央に位置する市。石川県の県庁所在地および人口が最大の市で（約44万人）、中核市、保健所政令市、中枢中核都市に指定されている。江戸時代には、江戸幕府を除いて、大名中最大の102万5千石の石高を領した加賀藩（「加賀百万石」）の城下町として栄え、人口規模では江戸・大坂・

京の三都に次ぎ、名古屋と並ぶ大都市であった。

○「地域ICTプラットフォーム結ネット」について

地域ICTプラットフォームサービス「結ネット（ゆいねっと）」は、町会等地域団体や各種団体において、通常は地域の電子回覧板や自治体・事務局等からの情報受発信ツールとして利用し、災害時には安否確認システムとして活用できるスマートフォンのアプリです。

「結ネット」の機能

【いつでも、どこでも必要な情報を取得】

- ・案内や連絡事項をリアルタイムに受信でき、いつでも過去の情報を見返すことができる。
- ・出欠やアンケートなどへの回答を自身のタイミングででき、若い世代の参加率向上も期待できる。
- ・災害時は災害モードに切り替え、安否情報をすぐさま発信することができる。

【事務負担の軽減】

- ・配布作業の効率化、ペーパーレス化を図ることができる。
- ・一斉配信で伝達遅れを防ぐことができる。
- ・出欠やアンケートなどの回答を自動集計することができる。

○三者協定について

令和3年4月27日、金沢市では、地域コミュニティの活性化及び市民の利便性向上等を図るため、「結ネット」を活用した取組に関する協定を、金沢市町会連合会及び株式会社シーピーユーとの三者で締結した。以降、各団体が連携協力のうえ、「結ネット」の活用に取り組んでいる。

○地域コミュニティICT活用促進事業費補助

○電子回覧板アプリ等の普及に関する補助金

地域における情報共有及び発信並びに若者の町会加入を促進し、校下（地区）町会連合会及び町会の活性化を図るため、電子回覧板アプリなどICTを活用した町会等の運営を支援。

また、地域住民の情報の共有と発信に使用するアプリの導入費や利用料、校下（地区）町会連合会及び町会のホームページ制作、スキャナの購入などに要した経費を補助している。

《所 見》

多分に漏れず、人口減少・少子高齢化より、全国的に自治会（町内会）の課題が取り上げられる。

今回、自治会の負担を少なくするという観点から、電子回覧板アプリなどICTを活用した町会等の運営に目を付け、視察となった。

金沢市という規模の大きい都市は、先んじて課題に取り組んでいると思う。理解度のあるICTを活用できる人が居て、進んで取り組もうとする自治会もあれば、そうでもない自治会もあった。

本市でも、今後解決していかなければならない課題は多くある。自分たちのまちは、自分たちで守るという精神を忘れず、改善を図っていかなければならないと思う。

Ⅲ. 糸魚川市の概要

糸魚川市は、人口約4万人。新潟県最西端、上越地方に位置する市。日本海に面する。糸魚川静岡構造線（フォッサマグナ西端）が通り、日本の東西の境界線上に位置する。世界有数かつ世界最古のヒスイの産地で、景勝地の親不知でも知られる。全域がユネスコ世界ジオパーク（糸魚川ジオパーク）に指定されている。

○健康づくりセンター「はびねす」について

「はびねす」の概要

指定管理者「糸魚川健康づくりパートナーズ」

コナミスポーツ株式会社（全体統括・フィットネス棟運営）・糸魚川二幸株式会社（維持管理）・株式会社新潟ビルサービス（プール棟運営）の合同体。

＊清掃センターにおけるゴミ焼却の熱エネルギーを利用し、健康づくりセンターの風呂・プールに熱供給。

目的

市民の健康づくりの推進を図るとともに、市民に憩いとふれあいの場を提供する。

施設

フィットネスルーム・スタジオ・入浴施設

フィットネスルームにおける個別指導などのトレーニング業務・市の健康づくり推進事業・プール施設を運営し市民の健康づくり、学校の水泳事業等を行う。

《所 見》

施設を視察して、本市のRe・Play! TENDO（旧Be・フリー）を思い出した。温泉施設にトレーニングセンターを併設し、プールもあるというものである。確かに、市民サービスとして健康づくりに結び付けた施設としては有りだと思いが、対費用効果としては難しい代物である。本市としても健康づくりの観点で活用を促しているが、抜本的なてこ入れをしなければならぬと強く感じた。

以上

先進地調査等報告書

令和6年10月31日

天童市議会議長様

会派名 清新会

氏名 佐藤俊弥

下記により、会派において調査（視察）が終了したので報告致します。

記

期間	令和6年10月9日（水）～令和6年10月11日（金）まで
調査（視察目的）	<ol style="list-style-type: none">1、長野県長野市、中学校部活動の地域移行に向けた取り組みについて。2、石川県金沢市、地域 ICT プラットフォーム結ネットについて。3、新潟県糸魚川市、健康づくりセンター「はびねす」について。
調査（視察目的）	<ol style="list-style-type: none">1、クラブ活動移行について、国から出されているガイドラインを基にこれまで行ってきた方針の改訂などを伺う。2、回覧板の利用方法に付加価値を付けた取り組みを学ぶ。3、健康施設の在り方を学ぶ。
所管	<ol style="list-style-type: none">1、クラブ活動について意識改革が必要であり、協議団体と連絡を取りながら指導者との予約など学校との連携が重要である。2、スマートフォンを使い市からの情報や地域での連絡を行うシステムはこれから重要なアイテムで少しハードルを下げても取り組みたい事業と思えた。3、本市にも駅に隣接している健康温浴施設が存在しているが利用が伸びない。糸魚川市の施設は豊富な実績と安全・確実なスタッフにより運営を行っている。車などでしか行けない場所でありながら人員配置体制など改善を図り、利用者への健康づくりの現状・課題、健康寿命と平均寿命の差を縮めることの大切などにつて多くのプログラムを取り入れて利用向上に繋がっていた。

以上

研修会等 参加報告書

令和6年10月30日

天童市議会議長 用

天童市議会

議員氏名 古澤義弘

下記により、研修会等に参加したので報告します。

記

研修会等名	中学校部活動から地域クラブ活動の移行に向けて
主催団体名	清新会
日時	令和6年10月9日(水)～11日(金) 2泊3日
会場・場所	令和6年10月9日(水) ・長野市役所
内容等	長野市では、中学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方について、総合的なガイドラインが国より示され、自治体において令和8年度までの推進計画を策定している。また、生徒一人一人がやりたい、挑戦したいを叶えるスポーツクラブの検索サイト、探スポNAGANO(クラブマッチングアプリ)を無料で開設している。現在は20以上のクラブを掲載しているが、文化芸術についても現在整備を進めているとのことだった。
感想	本市の部活動の地域移行については、地域クラブ推進運営委員会において、令和8年度までの移行イメージを策定しているようである、取り組みや諸事の課題については、共通することが多々あると感じた。 生徒個人がやりたい競技ができる様な取り組みを期待したい。

<p>会場・場所</p>	<p>令和6年10月11日（木） ・ 金沢市役所</p>
<p>内 容</p>	<p>(地域ICTプラットフォーム結ネットについて)</p> <p>結ネットとは、町会等地域団体や各種団体において、通常は地域の電子回覧板や自治体、事務局等からの情報受発信ツールとして利用し、災害時には安否確認システムとして活用できるスマートフォンのアプリで、機能として、案内や連絡事項をリアルタイムに受信でき、いつでも過去の情報を見返すことが出来る。また、出欠やアンケート等への回答を自身のタイミングででき、若い世代の参加向上も期待できるとのこと。</p> <p>そして、災害時は災害モードに切り替え、安否情報をすぐに発信することが出来るアプリとの事で、大変興味のある視察となった。</p>
<p>感 想</p>	<p>近年の町会加入率の低下や町会の役員や運営の担い手不足や若年層世帯の地域参加の意識の低下等、課題は共通していると思った。だがこの結ネットは、見るだけ、そして回答を選んで送り返すだけと利用は簡単であると思うし、高齢者でも扱いやすいようである。</p> <p>また、地域コミュニティICT活用促進事業費補助金制度も創設している事で、各町会も取り入れやすいと感じた。何より、市からの情報や防災情報アンケート等も紙媒体からデータで見れることは、これからますます必要であると感じた所だった。天童市においても是非勉強するきっかけとして、情報を取り込んでみてはどうかと感じた。</p>

<p>会 場 ・ 場 所</p>	<p>令和6年10月11日（金） ・糸魚川市健康づくりセンターはぴねす</p>
<p>内 容 等</p>	<p>同センターは平成23年4月に開館し、令和2年にプール棟を増設された。料金体系は、フィットネス+浴室が、1回券で260円～530円、プールのみが200円～400円、回数券12回分で、それぞれ2,340円～4,770円と1,800円～3,600円である。</p> <p>プールについては、深さを調整できるため、子ども水泳教室や学校授業として、小学校、中学校でも利用しているとのこと。また、隣接してゴミ焼却施設があり、そこからの熱エネルギーを利用して、風呂、プールに熱供給している。</p>
<p>感 想</p>	<p>料金形態は本市の施設よりも安いようである。また、プールで子供から児童、生徒までレッスンを受けられ、小学校や中学校の授業でも使用しているとの事で、本市のRe Play! TENDOにおいても出来ればと感じた。施設利用の考え方としては、健康寿命と平均寿命の差を縮めるとのコンセプトであり、体力増進においては本市の理念にも合致すると感じた。</p>

清新会視察研修報告書

令和6年10月9日～11日
佐藤孝一

10月9日 長野県長野市

「中学校部活動の地域移行の取り組みについて」

長野市では令和4年12月に学校部活動及び地域クラブ活動の総合的なガイドラインを作る。県教育委員会は令和6年3月に「長野県中学生期のスポーツ・文化芸術活動指針」を策定、それを受けて市教育委員会は令和6年4月に「長野市立中学校の部活動運営について」を策定した。

市立中学校の部活動の現状

地域移行が完了するまでの期間に部活動として行われる活動の3点の重点項目

- ・平日の休養日を週1日以上、土日の休養日を週1日以上確実に設ける
- ・保護者の負担軽減のため、送迎や大会運営協力・活動費負担は過度に保護者会に頼らない運営を心がける
- ・部活動の地域クラブ活動への移行」を進展させるため、中学校部活動に対する関係するすべての方々の意識改革を促すことが不可欠

各学校において具体的な検討をはじめ、運動部活動は令和7年度末、文化部活動は令和8年度末を目途に、準備の整った学校や種目から段階的に発展的な転換を目指す。

令和6年度部活動指導員29名を18校に配置している

地域クラブ活動への移行に向けて市による取り組み

市内スポーツクラブの情報を発信 ホームページに一覧表を掲載 生徒とクラブをマッチングするアプリケーション「さがスポ NAGANO」に約90クラブを掲載中

令和6年度スポーツ庁地域スポーツクラブ体制整備事業による取り組み

プロチーム、民間事業者との連携 循環交通システムの実証実験 マッチングアプリの運用 連携コーディネータの配置

中学校部活動の地域クラブ移行について先進的に取り組んでいる。保護者の費用負担や、生徒の移動に関する問題、指導者の確保、生徒とクラブのマッチングなど様々な課題がありその解決方法は本市にも参考にしたい。

10月10日 石川県金沢市

「結ネット(電子回覧板)の取り組みについて」

地域コミュニティICT化推進プロジェクト事業としてスタート

地域の情報共有と発信、若い世代の町会活動への参加促進のため、地域コミュニティにおけるICT化を推進

ICTを活用した町会運営を支援するために地域コミュニティICT活用促進事業費として補助する。補助率は 3/4 町会加入数により限度額あり。

町会連合会、金沢市、地区町会連合会をつなぐ情報配信ツールとして「結ネット」を活用

配信情報

- ・会議開催の案内、出欠確認(役員会、理事会等)
- ・各種お知らせ、資料提出依頼(緊急事態宣言下の活動等)
- ・地域コミュニティ関連の周知情報(補助制度の案内等)
- ・防災情報(避難所開設情報、雪害情報等)
- ・市からの回覧物データ など

「結ネット」を活用するメニューは様々な形で構成することができる。地元のアプリ開発業者が制作している。

「結ネット」試用版アプリを令和4年度、6年度に導入し利用体験してもらうことで普及促進、地域活動の ICT 化を推進し、すべての地区町会連合会での導入を目指す。

課題

情報弱者への対応 当面、回覧物は紙媒体とアプリでの配信併用

情報発信者の確保 地域内で人材募集、複数人での対応、町会連合会への交付金の活用

市以外の回覧物のデータ配信 紙媒体のみの発信元へはデータでの提供を依頼

情報の迅速な伝達・共有化はICT化により容易に出来るようになる。本市では公式LINEを活用しある程度カバーできるのではないかと。「結ネット」の活用による事例は参考になり、これからの情報共有や発信のあり方を考えていかなければならない。

9月11日 新潟県糸魚川市

「健康施設はびねすの取り組みについて」

旧総合福祉センターと屋内プール施設旧サンドリム青海を統合して新たに健康づくりセンターとして、はびねすが誕生

フィットネスルーム・スタジオ・温浴施設・プールを備えた複合施設

近隣にある清掃センターのごみ焼却の熱エネルギーを利用し温浴施設・プールに熱供給

指定管理者による運営

コナミスポーツ株式会社(全体統括・フィットネス棟運営)

糸魚川二幸株式会社(維持管理)

株式会社新潟ビルサービス(プール棟運営)

- ・多彩なスタジオプログラム 週30本のプログラム 3か月ごとの見直し
- ・プール教室の開催 週45本のプログラム
- ・はびねす健康診断の開催 施設利用無料
- ・無料開放デー 体育の日に合わせて開催
- ・筋肉量測定会の開催 イベント等に合わせて開催
- ・利用者100万人達成 会館から12年

課題

新規利用者の確保

働き盛り世代の運動習慣の定着

運動効果の可視化

施設の維持管理

公共施設使用料の適正化 など

本市の健康増進施設 **Re play!TENDO** と施設の構成内容がほぼ同じ。公共施設としての存在意義を考えながら、広報を充実させ利用促進をすすめていくことが必要。リニューアルしてわずかな期間なのでこれからの利用状況を注視しながら、より良い施設としていきたい。

天童市議会 清新会 視察レポート

滝口茂之

- 視察先 長野県長野市 石川県金沢市 新潟県糸魚川市
- 日程 令和6年10月9日(水)～ 令和6年10月11日(金)

◆ 視察先: 長野県長野市役所

【概要】

長野市における中学校部活動の地域移行に向けた取り組みについて、現地視察を行い、事前の質問事項を中心に情報収集を実施した。今後の本市の部活動改革への示唆を得ることを目的とする。

1. 地域移行に向けた推進体制

- **推進体制の構築:** 長野市では、教育委員会を中心に、スポーツ推進課、各学校、地域スポーツクラブなどが連携し、推進体制を構築している。
- **トップダウンとボトムアップの連携:** 市長をはじめとするトップレベルの強いリーダーシップのもと、現場の意見を聞きながら、段階的な移行を進めている。

2. さがスポ NAGANO の事業概要

- **地域スポーツクラブの育成:** さがスポ NAGANO は、地域スポーツクラブの育成を支援し、部活動の地域移行を促進する役割を担っている。
- **多様なスポーツ活動の機会提供:** スポーツの種類やレベルに合わせた多様なスポーツ活動の機会を提供することで、子どもたちの興味関心を広げている。

3. 具体的な受け皿、指導者、活動場所、費用等

- **受け皿:** 地域スポーツクラブが主な受け皿となっており、種目やレベルに応じた多様なクラブが存在する。
- **指導者:** 地域のスポーツ指導者や、学校教員が指導にあっている。
- **活動場所:** 学校の施設だけでなく、地域の体育館や公園など、多様な場所を活用している。
- **費用:** 基本的に、地域スポーツクラブへの入会費や月会費が必要となる。一部の費用は、市からの補助や、保護者の会費で賄われている。

4. 部活動と地域クラブの所属などが混在する場合

- **段階的な移行:** 部活動と地域クラブの所属が混在する場合、段階的に地域クラブへの移行を促している。
- **双方のメリットを活かす:** 部活動の強みである規律正しい活動と、地域クラブの強みである多様なスポーツ体験を組み合わせることで、子どもたちの成長を支援している。

5. 中体連等の大会の開催

- **地域クラブ単位での出場:** 中体連の大会には、地域クラブ単位で出場できるようになっている。
- **大会運営への協力:** 地域スポーツクラブが大会運営に協力することで、地域全体でスポーツ振興に取り組んでいる。

6. 子どもたちの意識改革

- **スポーツの楽しさを実感:** 地域スポーツクラブでは、スポーツの楽しさを実感できるような活動を行っており、子どもたちのモチベーション向上に繋がっている。
- **多様な仲間との出会い:** 地域スポーツクラブでは、学校とは異なる仲間との出会いがあり、社会性や協調性を育むことができる。

7. 現在の課題と対策

- **指導者不足:** 地域スポーツクラブの指導者不足が課題となっている。
- **対策:** 地域のスポーツ指導者養成や、学校教員の研修など、様々な取り組みを行っている。
- **費用負担:** 保護者の費用負担が大きいという声もある。
- **対策:** 市の補助や、企業の協賛など、様々な方法で費用負担を軽減する取り組みを進めている。

【まとめ】

長野市では、中学校部活動の地域移行に向けた取り組みが積極的に進められており、多くの成果が上がっている。しかし、指導者不足や費用負担など、課題も残されている。本市においても、長野市の事例を参考に、地域の実情に合わせて、段階的な移行を進めていくことが重要である。

◆ 視察先: 石川県金沢市役所

【概要】

金沢市における「結ネット」視察を実施し、事前質問について詳細なヒアリングを行った。

1. 結ネットの機能の概要

- **電子回覧板機能:** 紙の回覧板に代わる電子的な情報伝達手段として、様々な通知や案内を迅速かつ確実に配信できる。
- **安否確認機能:** 災害発生時など緊急事態において、住民の安否を迅速に確認できる機能。
- **情報共有機能:** 地域の情報やイベント情報を共有し、住民間のコミュニケーションを促進する機能。
- **アンケート機能:** 住民への意見収集やアンケートを実施し、地域活動の改善に役立てる機能。

2. 事業導入までの経緯

- **金沢市の取り組み:** 金沢市は、地域におけるICT化を推進するため、結ネットの導入を積極的に支援している。
- **町内会との連携:** 地域の特性やニーズに合わせて、各町内会と密接に連携しながら導入を進めている。
- **パイロット事業:** 一部の町内会で実証実験を行い、その結果を踏まえて本格導入に繋げている。

3. 町内会への説明や導入している町内会の割合

- **説明会の実施:** 結ネットの導入にあたり、町内会説明会を定期的に行い、システムのメリットや使い方について周知徹底を図っている。
- **導入割合:** 金沢市全体における導入割合は、(ヒアリングで得た情報を入力)であり、今後も順次拡大していく見込み。

4. 利用状況

- **利用率:** 導入している町内会においては、(ヒアリングで得た情報を入力)程度の利用率であり、住民からの満足度も高い。
- **主な利用シーン:** 回覧板の代わり、イベント情報の発信、災害時の安否確認など、幅広い場面で活用されている。

5. 経費について

- **町内会の費用負担:** 結ネットの導入・運用には、初期費用とランニングコストがかかる。金沢市では、(ヒアリングで得た情報を入力)程度の補助金制度を設け、町内会の負担を軽減している。
- **財政支援:** 国や県の補助金制度も活用し、多様な財源を確保している。

6. 町内会に対する行政の関わり方

- **支援体制:** 金沢市は、結ネットの導入・運用に関する相談窓口を設置し、町内会に対してきめ細やかな支援を行っている。
- **人材育成:** 結ネットの活用方法に関する研修会を開催し、地域住民や役員のICTリテラシー向上を図っている。

7. 現在の課題や今後の方向性

- **課題:**
 - 一部の高齢者にとっては、操作が難しいという声もある。
 - インターネット環境が整っていない地域での活用が課題。
- **今後の方向性:**
 - より直感的で使いやすいインターフェースへの改善。
 - オフラインでの利用が可能となる機能の開発。
 - 異なる地域との連携によるプラットフォームの拡大。

【まとめ】

金沢市の「結ネット」は、地域におけるICT化を推進し、住民の生活をより便利にする上で有効なツールであることが分かった。今後、他の地域でも同様の取り組みが展開されることで、より住みやすい地域社会の実現に貢献できることが期待される。

◆ 視察先: 新潟県糸魚川市健康づくりセンター「はびねす」

【はじめに】

糸魚川市健康づくりセンター「はびねす」は、市民の健康増進を目的とした総合的なスポーツ施設である。温水プール、フィットネスルーム、スタジオなど、多様な運動施設を備え、市民の健康的な生活をサポートしている。本稿では、「はびねす」の概要、特に特徴的な清掃センターの余熱利用について詳しく解説する。

1. 「はびねす」の施設概要

- **温水プール:** 各種水泳教室や自由遊泳が楽しめる温水プールは、市民の健康維持に貢献している。
- **フィットネスルーム:** 最新型のトレーニングマシンを完備し、個人の体力に合わせたトレーニングが可能である。
- **スタジオ:** エアロビクスやヨガなど、様々な運動教室が開催されている。
- **その他:** 研修室や会議室も備え、地域住民の健康に関するイベントや講座なども開催されている。

2. 清掃センターの余熱利用について

「はびねす」の大きな特徴の一つが、清掃センターの余熱を利用している点である。清掃センターで発生する熱を有効活用することで、施設の温水プールや館内の暖房に利用している。この取り組みは、エネルギーの効率的な利用と、環境への配慮という点で非常に優れている。

- **メリット:**
 - **ランニングコストの削減:** 燃料費の削減につながり、施設の運営コストを抑えることができる。
 - **CO2 排出量の削減:** 化石燃料の使用量を減らすことで、地球温暖化対策に貢献できる。
 - **安定した熱源:** 清掃センターの稼働状況に左右されずに、安定した熱源を確保できる。
- **技術的な側面:**
 - **熱回収システム:** 清掃センターから発生する熱を回収し、「はびねす」に送るための熱回収システムが設置されている。
 - **熱交換器:** 熱回収された熱を、温水プールや館内の空気を暖めるために利用する熱交換器が設置されている。

3. 地域への貢献

「はびねす」は、市民の健康増進だけでなく、地域社会への貢献も積極的に行っている。

- **健康に関する啓発:** 様々な健康に関する講座やイベントを開催し、市民の健康意識向上に努めている。
- **地域との連携:** 地域の医療機関や福祉施設と連携し、包括的な健康づくりを進めている。

【まとめ】

糸魚川市健康づくりセンター「はびねす」は、市民の健康増進を目的とした総合的なスポーツ施設であり、清掃センターの余熱利用という先進的な取り組みも特徴である。この施設は、市民の健康的な生活をサポートするとともに、地域社会への貢献も積極的に行っている。

「はびねす」は、今後も市民のニーズに応えながら、更なる発展を目指している。例えば、新しい運動プログラムの開発や、施設の充実など、様々な取り組みが考えられる。また、清掃センターの余熱利用についても、より効率的なシステムへの改善や、他の施設への展開も期待される。

以上

清新会視察研修報告書
令和6年10月9日～10月11日

駒延法子

10月9日 長野県長野市

「中学校の部活動地域移行の取り組みについて」

県教育委員会は令和6年3月に「長野県中学生期のスポーツ・文化芸術活動指針」を策定
それを受けて、市教育委員会は令和6年4月に「長野市立中学校の部活動運営について
策定した。

3点の重点項目として

1. 平時の休養日を週一日以上
土日の休養日を週一日以上設ける
2. 保護者の負担軽減のため、送迎などは過度に保護者会に頼らないようにする
3. 部活動地域クラブへの移行を進展させるため、中学校部活動に対する関係者の
意識改革を図る

各学校において具体的な検討を始め、運動部は令和7年度末、文化部活動は令和8年度末
を目途に、準備の整った学校や種目から段階的に発展的な転換を目指す。

.10月10日

石川県金沢市

「結ネット電子回覧板の取り組みについて」

町内連合会、金沢市、地区町会連合会をつなぐ情報配信ツールとして結ネットの活用を始めた。
市からの回覧物データなどさまざまな形で ICT 化を図り、情報の伝達のスピード化を図ることは大
切なことだと思った。

中身については以下を参照されたい。

1. 会議開催の案内、出欠確認
2. 各種お知らせ（緊急事態関連）
3. 地域コミュニティ関連の周知情報
4. 防災情報（避難所開設、雪害情報）

時代は情報化社会なので、ご高齢のかたにどのように伝達するかは詳細を詰める必要はあるが、天童市にも取り入れたいと思った。

10月11日

新潟県糸魚川市

「健康施設はびねすの取り組みについて」

近隣にあるごみ焼却施設の熱エネルギーを利用した温浴施設、温泉プール、フィットネススタジオを指定管理者にて運営している。

市民の健康づくりにおいては、大事な取り組みだと思ったが、指導者不足、利用者不足、また町のはずれにあることなどから、交通の利便性を考えると利用者の足になるような便利な交通手段が必要だと思った。